

一般社団法人 日本写真測量学会

第62回定時総会

【日時】 令和5年5月18日（木） 16:40～

【場所】 東京大学生産技術研究所 An棟2階 コンベンションホール
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1

【議案】

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号議案 | 令和4年度事業報告 |
| 第2号議案 | 令和4年度収支決算・監査報告 |
| 第3号議案 | 令和5年度事業計画 |
| 第4号議案 | 名誉会員の推挙 |
| 第5号議案 | 表彰 |

I. 会員数	(令和4年度末)	(令和3年度末)
正会員	1074	1059
団体会員	19	19
学生会員	69	49
海外会員	3	3
名誉会員	7	8
特別会員	53 (73口)	54 (74口)

II. 事業に関する事項

(1) 学会誌の発行

- ・ 学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行した。

<発行年月日>	<巻 号>	<発行部数>
令和4年 5月12日	61巻 2号	1320部
令和4年 7月11日	61巻 3号	1340部
令和4年 9月12日	61巻 4号	1340部
令和4年11月10日	61巻 5号	1320部
令和4年11月17日	60周年記念号	1340部
令和5年 1月11日	61巻 6号	1310部
令和5年 3月10日	62巻 1号	1360部

- ・ 北海道支部 会報42号を発行した。

(2) 学術講演会・特別講演会・特別セッションの開催

① 年次学術講演会、特別講演会を下記の通り行った。

日時 令和4年5月19日、20日 ※オンライン形式で開催
 参加者数 161人 講演数 31編
 特別講演：「タイフーンショット計画と台風科学技術研究センターのご紹介
 ～2050年、台風の「脅威」を「恵み」に～」
 講演者：筆保弘徳氏（横浜国立大学 台風科学技術研究センター長）

② 秋季学術講演会、特別講演会を下記の通り行った。なお、巡検は中止とした。

日時 令和4年11月10日、11日
 場所 佐賀県佐賀市 アバンセ ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
 参加者数 169人 講演数 42編
 特別セッション：「日本からの研究・技術力の発信（持続可能な学会のありかた）」

③ 支部において学術講演会・特別講演会を下記の通り行った。

- 北海道支部：特別講演会2回（7月29日、12月9日）、学術講演会1回（3月17日）
- 北信越支部：特別講演会1回（9月30日）
- 関西支部：特別講演会1回（6月24日）

(3) 関連する調査、研究および資料の収集

- テストフィールド運営委員会（1回開催）にて引き続きテストフィールド維持管理のための広報活動を行った。

(4) シンポジウム、セミナー等の開催

- G空間EXPO（12月1日～12月25日開催）において、以下のシンポジウムをオンデマンド配信で実施した。
 「自然資本・生物多様性に対する地球観測衛星の貢献」講演発表者：7名、視聴数：546回

- 北信越支部 空間情報セミナー5回 (5月27日、7月22日、9月30日、11月25日、1月27日)
- 関西支部 テクニカルセミナー6回 (4月22日、6月24日、8月26日、10月21日、12月9日、2月3日) 合計参加者数 267人
若手技術者・研究者のための技術研究発表会1回(9月9日) 参加者40人

(5) 講習会の開催

- 手持ちレーザスキャナ (SLAM) 講習会を行った。
日時 令和4年7月1日
場所 全水道会館 参加者数 23人
- UAV レーザ&写真測量講習会(実習付)を行った。
日時 令和4年9月1日 ~2日
場所 ASITE 空間情報技術試験フィールド(静岡県御殿場市) 参加者数 18人

(6) その他目的を達成するため必要な事業

- ① アジアリモートセンシング会議 (ACRS) の表彰事業 (JSPRS Award・Murai Award) への助成を行った。
- ② 対外協力委員会
 - ・2022年12月に開催されたG空間EXPOでは、日本リモートセンシング学会との共同主催、地理情報システム学会との共催により、シンポジウム「自然資本・生物多様性に対する地球観測衛星の貢献」をオンデマンド配信で開催した。
 - ・昨年度に引き続き、今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」(TF)の幹事会および2つのワーキンググループ(地球科学研究高度化、実利用)が開催するイベント等に、オンラインで参加した。なお、TFによる衛星地球観測ミッションの第3回追加公募が2023年1月~2月に行われた。また、我が国の地球観測の将来計画に関する緊急提言として、「広域・高分解能光学衛星の必要性」が2023年3月30日に内閣府、MEXT、METIに提案された。
- ③ 国際協力委員会

学会として戦略的にISPRS等の国際学会への取り組みや人材育成を図るべく、令和4年度より新たに設立した。令和4年度の活動は以下の通りである。

 - ・ACRSが2022年10月3日にモンゴルの現地とオンラインでハイブリッド開催された。当学会からは、村井賞とJSPRS賞を優秀発表者に授与した。また、JAXAの祖父江真一氏がWGチェアを務めるISPRS第1部会WG1では、ACRSと連携し、Special session “SATELLITE PROGRAM SESSION”を2022年10月5日にオンラインで開催した。ACRS2023は、10月30日~11月3日に台北市で開催予定である。
 - ・ISRS2022 (International Symposium on Remote Sensing 2022)は、日本がホストで当学会も主催者の一員となり2022年5月16日~18日にオンラインで開催した。また、ISRS2023は韓国がホストとなり、2023年4月19日~21日に済州国際コンベンションセンターで開催する予定である。
 - ・各国国際学会における各国および日本の参加状況の分析
 - ・国際学会に貢献しうる中堅・若手人材へのサポート体制の検討
 - ・国際学会参加への啓発活動として、秋季学術講演会での特別セッションの実施や学会誌での活動報告、会員へのアンケート調査等を行った。
- ④ UAV安全基準策定委員会

UAVの有視界外飛行が、ルールなどが整備されUAVの国家免許制度が始まり、いわゆるレベル4の運用が始まったが、その実情は整備、機体の認証など不透明な部分もまだ多い状態である。必要に応じて『測量調査を目的とした小型無人航空機を安全に運航するための手引き』の再改訂を含んだ対応をしていくことを確認した。
- ④ 会員へのCPD活動を行った。
 1. 学会誌購読 5P
 2. 講習会受講 1P/h
 3. 講習会講師 3P/h
 4. 口頭発表(学術講演会) 2P/件
 5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
 6. 学協会活動等による社会・業界への貢献等
- ⑤ 学会賞・学術講演会論文賞等の表彰を行った。令和4年度の表彰は以下の通りであった。
 - ・特賞 なし

- ・功労賞（3名）内田修氏、政春尋志氏、松田重雄氏
- ・学会賞（1名）杉森純子氏
- ・学会奨励賞（2名）神野有生氏、本間亮平氏
- ・永年会員表彰（25名）
- ・学術講演会論文賞

年次学術講演会 論文賞（3名）：木邨直人氏、河内大輝氏、山口哲氏

秋季学術講演会 論文賞（4名）：小林知生氏、加瀬聡氏、川井千晃氏、邱文心氏

- ⑥ 学会の公式ホームページの維持・更新を行った。
- ⑦ 学会創設60周年学会誌記念号の発行を行った。

III. 処務の概要について

(1) 役員等に関する事項

令和4年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職
会長	非常勤	清水 英範	令和4年5月19日	業務の総括	なし	公益社団法人日本測量協会
副会長	非常勤	長 幸平	令和4年5月19日	国際関連	なし	東海大学
同	非常勤	赤松 幸生	令和4年5月19日	渉外	なし	国際航業株式会社
常務理事	非常勤	織田 和夫	令和4年5月19日	編集	なし	アジア航測株式会社
同	非常勤	高木 方隆	令和4年5月19日	企画	なし	高知工科大学
同	非常勤	本多 嘉明	令和4年5月19日	部会	なし	千葉大学
同	非常勤	吉村 充則	令和4年5月19日	講習会	なし	東京大学空間情報科学研究センター
理事	非常勤	今井 靖晃	令和4年5月19日	財務	なし	国際航業株式会社
同	非常勤	大谷 仁志	令和4年5月19日	講習会	なし	株式会社コバコン
同	非常勤	小川 健太	令和4年5月19日	講習会	なし	酪農学園大学
同	非常勤	國井 洋一	令和4年5月19日	企画	なし	東京農業大学
同	非常勤	須崎 純一	令和4年5月19日	部会	なし	京都大学
同	非常勤	竹内 渉	令和4年5月19日	渉外	なし	東京大学
同	非常勤	橋 菊生	令和4年5月19日	企画	なし	株式会社パスコ
同	非常勤	津留 宏介	令和4年5月19日	企画	なし	アいちず創製株式会社
同	非常勤	徳永 光晴	令和4年5月19日	講習会	なし	金沢工業大学
同	非常勤	中川 雅史	令和4年5月19日	学術講演会	なし	芝浦工業大学
同	非常勤	中舎 哉	令和4年5月19日	企画	なし	中日本航空株式会社
同	非常勤	中野 一也	令和4年5月19日	学術講演会	なし	朝日航洋株式会社
同	非常勤	布施 孝志	令和4年5月19日	事務局長	なし	東京大学
監事	非常勤	熊谷 樹一郎	令和4年5月19日	監査	なし	摂南大学
同	非常勤	武田 浩志	令和4年5月19日	監査	なし	国際航業株式会社
同	非常勤	新名 恭仁	令和4年5月19日	監査	なし	アジア航測株式会社

(2) 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	担当事務	備考
事務局長	非常勤	布施 孝志	業務の総轄	東京大学
職員	常勤	岩下 典子	編集・庶務・会計	

(3) 会議等に関する事項

①総会

	議事事項	会議の結果
令和4年5月19日 16:00-17:00 中野サンプラザ 研修室8	総会出席者（正会員） 700名（委任状による出席含む） 1. 令和3年度事業報告・収支決算報告・監事監査報告について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度表彰；特賞、功労賞、学会賞、学会奨励賞授賞の報告・表彰、永年継続会員の報告・表彰 4. 役員改選	承認 報告 報告 承認

②理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年4月27日	1. 令和3年度事業報告及び収支決算報告について 2. 公益目的支出計画の完了について 3. 特定資産内規変更、補正予算について 4. 会員の入会・退会の承認 5. 表彰委員会より 6. ISPRS 関連について	承認 報告 承認 承認 報告 報告
令和4年5月19日	1. 会長・副会長・常務理事の互選 2. 理事の業務分担、事務局長、各委員長の指名 3. 評議員の選出	承認 承認 承認
令和4年11月10日	1. 来年度の秋季学術講演会開催地について 2. 対外協力委員会活動報告 3. 国際協力委員会活動報告 4. 測量協会イノベーション大会について 5. 各委員会より	報告 報告 報告 報告 報告
令和5年1月11日 常務理事会	1. インボイス制度に向けての対応について 2. 学会の財政状況について 3. 国際協力委員会の活動・学術講演会との連携について	報告 報告 報告
令和5年3月14日	1. 令和5年度事業計画案について 2. 令和5年度収支予算案について 3. 名誉会員の推挙について 4. 永年会員表彰について 5. 各委員会、各支部からの報告	承認 承認 承認 報告 報告

③編集委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月13日	1. Vol. 61 No. 3の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和4年7月8日	1. Vol. 61 No. 4の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和4年9月6日	1. Vol. 61 No. 5の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和4年11月16日	1. Vol. 61 No. 6の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 次年度の表紙について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 検討

令和5年1月12日	1. Vol.62 No.1の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. Vol62の表紙について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 決定
令和5年3月16日	1. Vol.62 No.2の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 学会賞・学会奨励賞の推薦者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 討議・決定

④学術講演会実行委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月20日	1. 年次学術講演会の運営について	確認
令和4年8月23日	1. 秋季学術講演会に向けてのスケジュールについて 2. 秋季学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定	確認 確認
令和4年11月11日	1. 秋季学術講演会の特別セッションについて 2. 年次学術講演会(5/18-19)の準備について	確認 確認
令和5年3月6日	1. 年次学術講演会の概要・準備について 2. 年次学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定 3. 年次学術講演会の特別講演、企業展示について 4. 秋季学術講演会の懇親会や巡検について	確認 確認 確認 確認

⑤テストフィールド運営委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年7月19日	1. UAVテストサイトの撤退・最終整備について	討議・確認
令和4年10月14日	1. 松田町UAVテストサイトの現地撤収作業（杭抜きなど）	確認

⑥表彰委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年3月16日	1. 令和5年度表彰について 特賞：近津博文氏、鹿田正昭氏、瀬戸島政博氏、 功労賞：齋藤元也氏／学会賞：菌部礼氏 学会奨励賞：姜文淵氏、竹内祐太郎氏	選考・推薦・決定

⑦文献抄録委員会

開催月日（すべてE-mail会議）	議事事項	会議の結果
令和4年3月23日～4月13日	学会誌 vol.61 no.2 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和4年6月1日～6月28日	学会誌 vol.61 no.3 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和4年7月27日～8月25日	学会誌 vol.61 no.4 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和4年8月17日～8月23日	委員1名交代	メール審議（全員賛成）
令和4年10月3日～10月19日	学会誌 vol.61 no.5 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和4年11月20日～11月25日	2025年3月までのスケジュール作成	検討・確認
令和4年11月27日～12月14日	学会誌 vol.61 no.6 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和5年2月1日～2月24日	学会誌 vol.62 no.1 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認

⑧60周年記念出版小委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月18日	1. 目次、執筆依頼および進行状況の最終確認	検討・確認

(4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

特記事項なし

(5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の概要
令和4年4月～令和5年3月	昭和情報プロセス株式会社	学会誌の印刷（年6回）

<追記>

(令和4年度事業報告の附属明細書について)

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

貸借対照表

令和5年3月31日現在

一般社団法人日本写真測量学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,009,162	5,442,438	566,724
現金	89,610	95,068	△ 5,458
普通預貯金	3,827,871	2,080,079	1,747,792
通常預貯金	2,091,681	3,267,291	△ 1,175,610
未収金	282,000	293,000	△ 11,000
未収金	173,276	186,236	△ 12,960
未収金	748,020	247,500	500,520
流動資産合計	7,212,458	6,169,174	1,043,284
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	44,540	44,540	0
投資有価証券	34,166,697	34,166,697	0
基本財産合計	34,211,237	34,211,237	0
(2) 特定資産			
京都国際会議特定預金	11,385,098	11,232,226	152,872
国際学会関連特定預金	1,213,283	1,773,778	△ 560,495
投資有価証券	17,091,905	17,085,470	6,435
特定資産合計	29,690,286	30,091,474	△ 401,188
(3) その他固定資産			
建物附属設備	110,000	110,000	0
減価償却累計額	△ 14,125	△ 6,755	△ 7,370
電話加入権	57,092	57,092	0
その他固定資産合計	152,967	160,337	△ 7,370
固定資産合計	64,054,490	64,463,048	△ 408,558
資産合計	71,266,948	70,632,222	634,726
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	923,104	70,840	852,264
未払金	138,000	136,000	2,000
前受金	149,000	105,000	44,000
前受金	12,600	12,600	0
未払金	697,500	420,800	276,700
流動負債合計	1,920,204	745,240	1,174,964
負債合計	1,920,204	745,240	1,174,964
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	34,000,000	34,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(34,000,000)	(34,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(211,237)	(211,237)	0
(うち特定資産への充当額)	(29,690,286)	(30,091,474)	△ 401,188
正味財産合計	69,346,744	69,886,982	△ 540,238
負債及び正味財産合計	71,266,948	70,632,222	634,726

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	(86,380)	(86,380)	(0)
基本財産受取利息	86,380	86,380	0
特定資産運用利益	(72,939)	(44,994)	(27,945)
特定資産受取利息	72,939	44,994	27,945
受取学生会費	(10,308,000)	(10,236,000)	(72,000)
正会員受取会費	7,763,000	7,756,000	7,000
学生会員受取会費	295,000	260,000	35,000
特別会員受取会費	2,250,000	2,220,000	30,000
事業収益	(7,150,780)	(4,944,219)	(2,206,561)
受取学会誌	3,729,900	2,285,700	1,444,200
受取学術講演会	1,429,280	1,219,000	210,280
受取出版物	20,900	100,519	△ 79,619
受取講習会	1,009,000	910,000	99,000
受取広告	918,500	429,000	489,500
受取テストフィールド	43,200	0	43,200
雑収益	(1,756,751)	(736,424)	(1,020,327)
受取利息	34	34	0
展示料	673,200	709,500	△ 36,300
雑収益	1,083,517	26,890	1,056,627
経常収益計	19,374,850	16,048,017	3,326,833
(2) 経常費用			
事業費	(15,186,308)	(13,000,881)	(2,185,427)
学会誌発行費	(7,536,547)	(5,769,816)	(1,766,731)
通信印刷製本費	690,153	518,753	171,400
印刷製本費	6,445,003	5,078,033	1,366,970
雑費	401,391	173,030	228,361
学術講演会費	(1,623,594)	(1,539,393)	(84,201)
出版物物関連費	(12,960)	(27,280)	(△ 14,320)
講習会費	(944,367)	(710,500)	(233,867)
テストフィールド費	(68,706)	(11,113)	(57,593)
その他事業費	(5,000,134)	(4,942,779)	(57,355)
給送料	2,443,000	2,513,000	△ 70,000
法定福利費	467,194	461,753	5,441
旅通費	153,804	156,910	△ 3,106
通信費	520,991	544,980	△ 23,989
消耗品費	59,758	169,373	△ 109,615
国際学会活動費	559,957	151,000	408,957
国際学会活動費	261,077	268,042	△ 6,965
表彰関係費	200,340	175,081	25,259
印刷製本費	202,033	339,949	△ 137,916
雑費	131,980	162,691	△ 30,711
管料費	(4,728,780)	(4,667,297)	(61,483)
給送料	1,047,000	1,077,000	△ 30,000
法定福利費	177,043	178,801	△ 1,758
旅通費	65,916	67,248	△ 1,332
通信費	220,330	218,189	2,141
消耗品費	23,860	53,228	△ 29,368
印刷製本費	22,952	24,536	△ 1,584
賃借料	1,320,000	1,320,000	0
租税公課	12,250	33,000	△ 20,750
法人税	697,500	420,800	276,700
減価償却	7,370	6,755	615
支保償守報	111,893	114,882	△ 2,989
雑費	726,000	792,000	△ 66,000
経常費用計	296,666	360,858	△ 64,192
当期経常増減額	19,915,088	17,668,178	2,246,910
	△ 540,238	△ 1,620,161	1,079,923

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	△ 540,238	△ 1,620,162	1,079,924
一般正味財産期首残高	35,886,982	37,507,144	△ 1,620,162
一般正味財産期末残高	35,346,744	35,886,982	△ 540,238
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	34,000,000	34,000,000	0
指定正味財産期末残高	34,000,000	34,000,000	0
III 正味財産期末残高	69,346,744	69,886,982	△ 540,238

財 産 目 録

令和 5年 3月31日現在

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現 金 預 金	89,610	
現 当 普 通 三 菱 三 井 住 友 銀 行 池 袋 東 口 支 店	3,215,688	
通 文 白 扇 未 棚 未 掲 卸 収 載 料 流 動 資 産 合 計	612,183	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	1,415,409	
文 白 扇 未 棚 未 掲 卸 収 載 料 流 動 資 産 合 計	329,621	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	346,651	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	182,000	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	40,000	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	60,000	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	173,276	
三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	748,020	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基 本 財 産 引 当 預 金 池 袋 東 口 支 店	44,540	
投 資 有 価 証 券 回 利 付 国 債 基 本 財 産 合 計	34,166,697	
投 資 有 価 証 券 回 利 付 国 債 基 本 財 産 合 計	34,211,237	
(2) 特定資産		
京 都 国 際 会 議 特 定 預 金 春 日 町 支 店	11,385,098	
国 際 三 菱 住 友 貯 蓄 通 郵 日 郵 郵 便 局 員 員	1,213,283	
投 資 有 価 証 券 回 利 付 国 債 特 定 資 産 合 計	11,085,470	
投 資 有 価 証 券 回 利 付 国 債 特 定 資 産 合 計	6,006,435	
投 資 有 価 証 券 回 利 付 国 債 特 定 資 産 合 計	29,690,286	
(3) その他固定資産		
建 物 附 属 設 備 累 計 額 電 話 加 入 権 其 他 固 定 資 産 合 計	110,000	
建 物 附 属 設 備 累 計 額 電 話 加 入 権 其 他 固 定 資 産 合 計	△ 14,125	
建 物 附 属 設 備 累 計 額 電 話 加 入 権 其 他 固 定 資 産 合 計	57,092	
建 物 附 属 設 備 累 計 額 電 話 加 入 権 其 他 固 定 資 産 合 計	152,967	
流動資産合計		7,212,458
固定資産合計		64,054,490
II 負債の部		
1. 流動負債		
未 払 通 信 費 他 金 8 件	923,104	
前 予 約 購 読 料 等	138,000	
前 受 和 5 年 度 会 費	149,000	
預 源 法 泉 所 得 税 等	12,600	
未 払 当 期 確 定 流 動 負 債 合 計	697,500	
2. 固定負債		
固 定 負 債 合 計		1,920,204
固 定 負 債 合 計		0
負債合計		1,920,204
純資産合計		69,346,744

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物附属設備：定額法
什器備品：定率法
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	44,540	0	0	44,540
投資有価証券	34,166,697	0	0	34,166,697
小 計	34,211,237	0	0	34,211,237
特定資産				
京都国際会議特定預金	11,232,226	6,159,307	6,006,435	11,385,098
国際学会関連特定預金	1,773,778	12	560,507	1,213,283
投資有価証券	17,085,470	6,006,435	6,000,000	17,091,905
小 計	30,091,474	12,165,754	12,566,942	29,690,286
合 計	64,302,711	12,165,754	12,566,942	63,901,523

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	44,540	44,540	0	—
投資有価証券	34,166,697	33,955,460	211,237	—
小 計	34,211,237	34,000,000	211,237	—
特定資産				
京都国際会議特定預金	11,385,098	0	11,385,098	0
国際学会関連特定預金	1,213,283	0	1,213,283	0
投資有価証券	17,091,905	0	17,091,905	0
小 計	29,690,286	0	29,690,286	0
合 計	63,901,523	34,000,000	29,901,523	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
1. 基本財産			
利付国債（10年）第341回	34,166,697	34,336,600	169,903
2. 特定資産			
利付国債（10年）第359回	11,085,470	10,897,700	△ 187,770
利付国債（20年）第182回	6,006,435	6,087,600	81,165
合 計	51,258,602	51,321,900	63,298

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、その内容を省略

収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

一般社団法人日本写真測量学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	(90,000)	(86,380)	(3,620)	
基本財産利息収入	90,000	86,380	3,620	
特定資産運用収入	(40,000)	(72,939)	(△ 32,939)	
特定資産利息収入	40,000	72,939	△ 32,939	
会 費 収 入	(9,960,000)	(10,308,000)	(△ 348,000)	
正会員会費収入	7,490,000	7,763,000	△ 273,000	
学生会員会費収入	250,000	295,000	△ 45,000	
特別会員会費収入	2,220,000	2,250,000	△ 30,000	
事 業 収 入	(5,225,000)	(7,150,780)	(△ 1,925,780)	
学会誌収入	1,800,000	3,729,900	△ 1,929,900	
学術講演会収入	1,250,000	1,429,280	△ 179,280	
出版物関連収入	100,000	20,900	79,100	
講習会収入	1,150,000	1,009,000	141,000	
広告収入	800,000	918,500	△ 118,500	
テストフィールド収入	75,000	43,200	31,800	
ソフトウェア収入	50,000	0	50,000	
雑 収 入	(841,100)	(1,756,751)	(△ 915,651)	
受取利息収入	1,100	34	1,066	
展示収入	700,000	673,200	26,800	
雑 収 入	140,000	1,083,517	△ 943,517	
事業活動収入計	16,156,100	19,374,850	△ 3,218,750	
2. 事業活動支出				
事業費支出	(14,180,100)	(15,173,348)	(△ 993,248)	
学会誌発行事業費支出	(6,100,000)	(7,536,547)	(△ 1,436,547)	
通信運搬費支出	600,000	690,153	△ 90,153	
印刷製本費支出	5,300,000	6,445,003	△ 1,145,003	
雑 支 出	200,000	401,391	△ 201,391	
学術講演会費支出	(1,385,000)	(1,623,594)	(△ 238,594)	
出版物関連費支出	(50,000)	(0)	(50,000)	
講習会費支出	(650,000)	(944,367)	(△ 294,367)	
テストフィールド費支出	(100,000)	(68,706)	(31,294)	
その他事業費支出	(5,895,100)	(5,000,134)	(894,966)	
給料手当支出	2,530,000	2,443,000	87,000	
法定福利費支出	450,000	467,194	△ 17,194	
臨時雇賃金支出	10,000	0	10,000	
会議費支出	140,000	0	140,000	
旅費交通費支出	210,000	153,804	56,196	
通信運搬費支出	525,000	520,991	4,009	
消耗品費支出	85,000	59,758	25,242	
国際学会活動費支出	1,250,000	559,957	690,043	
保守料支出	200,000	261,077	△ 61,077	
表彰関連費支出	200,000	200,340	△ 340	
印刷製本費支出	175,000	202,033	△ 27,033	
雑 支 出	120,100	131,980	△ 11,880	
管 理 費 支 出	(4,320,000)	(4,721,410)	(△ 401,410)	
給料手当支出	1,080,000	1,047,000	33,000	
法定福利費支出	170,000	177,043	△ 7,043	
旅費交通費支出	70,000	65,916	4,084	
通信運搬費支出	200,000	220,330	△ 20,330	
消耗品費支出	30,000	23,860	6,140	
印刷製本費支出	20,000	22,952	△ 2,952	
賃借料支出	1,320,000	1,320,000	0	
租税公課支出	20,000	12,250	7,750	
法人税住民税等支出	350,000	697,500	△ 347,500	
保守料支出	100,000	111,893	△ 11,893	
支払報酬支出	660,000	726,000	△ 66,000	
雑 支 出	300,000	296,666	3,334	
事業活動支出計	18,500,100	19,894,758	△ 1,394,658	
事業活動収支差額	△ 2,344,000	△ 519,908	△ 1,824,092	

II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	《 1,250,000 》	《 6,566,942 》	《 △ 5,316,942 》	
国際学会関連預金取崩収入	750,000	560,507	189,493	
京都国際会議特定預金取崩収入	500,000	6,006,435	△ 5,506,435	
固定資産売却収入	《 0 》	《 6,000,000 》	《 △ 6,000,000 》	
投資有価証券償還収入	0	6,000,000	△ 6,000,000	
投資活動収入計	1,250,000	12,566,942	△ 11,316,942	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	《 101,000 》	《 6,159,319 》	《 △ 6,058,319 》	
国際学会関連特定預金支出	1,000	12	988	
京都国際会議特定預金支出	100,000	6,159,307	△ 6,059,307	
固定資産取得支出	《 0 》	《 6,006,435 》	《 △ 6,006,435 》	
投資有価証券取得支出	0	6,006,435	△ 6,006,435	
投資活動支出計	101,000	12,165,754	△ 12,064,754	
投資活動収支差額	1,149,000	401,188	747,812	
当期収支差額	△ 1,195,000	△ 118,720	△ 1,076,280	
前期繰越収支差額	10,687,190	5,237,698	5,449,492	
次期繰越収支差額	9,492,190	5,118,978	4,373,212	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、前払金、未収入金、立替金、未払金、前受金、前受会費、預り金、未払法人税等を含めている。


なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	5,442,438	6,009,162
未 収 会 費	293,000	282,000
未 収 入 金	247,500	748,020
合 計	5,982,938	7,039,182
未 払 金	70,840	923,104
前 受 金	136,000	138,000
前 受 会 費	105,000	149,000
預 り 金	12,600	12,600
未 払 法 人 税 等	420,800	697,500
合 計	745,240	1,920,204
次期繰越収支差額	5,237,698	5,118,978

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事 熊谷樹一郎 

監事

監事

令和4年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 熊谷樹一郎は実施事業会計を中心に、監事 武田浩志はその他会計を中心に、監事 新名恭仁は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事

監事 武田浩志 

監事

令和4年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 熊谷樹一郎は実施事業会計を中心に、監事 武田浩志はその他会計を中心に、監事 新名恭仁は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を読覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。


以上

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事

監事

監事 新名恭仁 

令和4年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 熊谷樹一郎は実施事業会計を中心に、監事 武田浩志はその他会計を中心に、監事 新名恭仁は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

I. 事業に関する事項

① 学会誌の発行

- ・学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻 号	発行部数
令和5年 5月10日	62巻2号	1320部
令和5年 7月10日	62巻3号	1320部
令和5年 9月10日	62巻4号	1320部
令和5年11月10日	62巻5号	1320部
令和6年 1月10日	62巻6号	1320部
令和6年 3月10日	63巻1号	1320部

- ・会報誌を年1回発行する。(北海道支部)

② 学術講演会・特別講演会の開催

- ・年次学術講演会を下記のとおり行う。

【日時】 令和5年5月18～19日

【場所】 東京大学生産技術研究所 An棟 コンベンションホール・大会議室
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1

参加予定者数 200名 講演数47編

※第62回定時総会は、5月18日 16:40～ ハイブリッド方式にて開催

- ・秋季学術講演会を下記のとおり行う。

【日時】 令和5年11月16日～17日

【場所】 岩手県盛岡市「岩手教育会館」

〒020-0022 岩手県盛岡大通一丁目1-16

参加予定者数 180名 講演数60編 (予定)

- ・支部において特別講演会・学術講演会、セミナー等を行う。

○ 北海道支部：特別講演会2回(6月・10月)、学術講演会1回(3月)

○ 北信越支部：空間情報セミナー5回、特別講演会1回

○ 関西支部：特別講演会1回(6月)、テクニカルセミナー5回、技術研究発表会1回(9月)

③ 関連する調査、研究および資料の収集

- ・テストフィールド運営委員会にて、引き続きテストフィールドの維持管理を実施する。

④ シンポジウム、セミナー等の開催

- ・G空間EXPOにおいてシンポジウムを開催予定。

⑤ 講習会の開催

- ・手持ちレーザスキャナ講習会(7月7日)

- ・UAVレーザ写真測量講習会(9月28～29日)

⑥ その他目的を達成するため必要な事業

- ・ISPRS国際活動への協力を行う。

- ・アジアリモートセンシング会議への協力(JSPRS Award・Murai Award)を行う。

- ・ ISRS (International Symposium on Remote Sensing) への協力をを行う。
- ・ 会員のCPD活動の支援を行う。
 1. 学会誌購読 5P
 2. 講習会受講 1P/h
 3. 講習会講師 3P/h
 4. 口頭発表(学術講演会) 2P/件 (巡検参加も対象)
 5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
 6. 学協会活動による社会・業界への貢献等(ポイント数は活動内容による)
- ・ 他学協会・機関との対外交流のための対外協力委員会を継続して行う。
- ・ 特賞・功労賞・学会賞・奨励賞・永年会員・学術講演会論文賞等の表彰を行う。
- ・ 学会Webの更新(学術講演会・論文システムの更新他)を行う。

II. 処務の概要

① 会議等に関する事項

- (1) 常務理事会・・・・・・・・・・ 2回(令和5年4月・令和6年3月)
- (2) 理事会・・・・・・・・・・ 3回(令和5年4月・11月16日・令和6年3月)
- (3) 評議員会・・・・・・・・・・ 1回(令和5年・開催月は未定)
- (4) 総会・・・・・・・・・・ 1回(第62回定時総会:令和5年5月18日)
 支部総会・・・・・・・・・・各1回(令和5年6月(北海道・関西)、7月(北信越))
- (5) 編集委員会・・・・・・・・・・ 6回(令和5年5月・7月・9月・11月・令和6年1月・3月)
- (6) 学術講演会実行委員会・・・・ 4回(令和5年5月・8月・11月・令和6年3月)
- (7) 表彰委員会・・・・・・・・・・ 1回(令和6年3月)
- (8) テストフィールド運営委員会・ 3回
- (9) 文献抄録委員会・・・・・・・・ 6回
- (10) 講習会実行委員会・・・・・・ 1回
- (11) 国際協力委員会・・・・・・・・ 5回
- (12) 対外協力委員会・・・・・・・・ 2回
- (13) UAV安全基準策定委員会・・ 3回

② 許可、認可、承認、証明等に関する事項

特になし

以上

2023年5月18日

(一社) 日本写真測量学会 会員各位

会長 清水英範

名誉会員への推挙について

近津博文氏を下記の通り、当学会の名誉会員に推挙したく、ここに提案いたします。

記

1. 氏名

近津 博文 (1948年6月2日生、現在74歳) 現職：東京電機大学 名誉教授

2. 略歴

- 1973年 中央大学 理工学部土木工学科 卒業
- 1975年 中央大学 理工学研究科土木工学専攻修士課程 修了
- 1977年 東京電機大学 理工学部建設工学科 助手 (～1993年)
- 1988年 工学博士 (東京大学)
- 1989年 シュツットガルト大学 測量学科 客員研究員 (～1991年)
- 1993年 東京電機大学 理工学部建設工学科 講師
- 1993年 東京電機大学 理工学部建設工学科 助教授 (～1995年)
- 1995年 東京電機大学 理工学部建設工学科 (現 建築・都市環境学系) 教授 (～2019年)
- 2019年 東京電機大学 名誉教授

当学会関連の主な役職

- 会長 (2012～2022年)
- 副会長 (1998～2000年、2008年～2012年)
- 常務理事 (1996～1998年、2000～2008年)
- 理事 (1994～2022年)
- 学術講演会実行委員長 (1992～2004年)
- 編集委員長 (2004～2012年)
- ISPRS (国際写真測量・リモートセンシング学会) 第5部会部会長 (1996～2000年)

4. 推薦理由

近津博文氏は上記の通り、当学会において長きに亘り指導的な役割を果たされました。特に会長職を10年間、それ以前には学術講演会実行委員長、編集委員長の重責を計20年間担われるなど、当学会の発展に並々ならぬ貢献をしていただきました。この間、ISPRS第5部会の部会長も務められ、わが国で開催した国際シンポジウムを大成功に導かれるなど、当学会の国際的な活動の活性化に大きく寄与されました。さらには、『三次元画像計測の基礎』をはじめ、当学会が編纂した多くの書籍において監修、編集の労をとられ、出版を通じた社会貢献にも多大なご尽力をいただきました。

同氏は、デジタル写真測量を中心に精力的に研究に取り組み、例えば当学会の学会賞受賞に見られるように、その業績は国内外で高く評価されています。この分野を代表する研究者として、動体計測研究会 (ARIDA) においても、1994年の設立時から会長を務められています。大学教育にも情熱を傾けられ、当学会などで活躍する有為な技術者、研究者を数多く輩出されました。

以上のように、近津博文氏の当学会、ならびに関連する学術分野の発展、振興に果たしてこられた貢献は特筆すべきものであり、その顕著な功績を称え、名誉会員に推挙したく提案します。

令和5年5月18日

日本写真測量学会 令和5年度学会各賞の受賞者

会長 清水英範

表彰委員会及び理事会での審議の結果、令和5年度学会各賞の受賞者を以下の通り決定いたしました。なお、授賞理由として、表彰状に記す文章を添えさせていただきます。

【特賞・功労賞・学会賞・学会奨励賞 受賞者】**■ 特賞（3名）：****近津 博文 氏**

貴殿は長年にわたり 我が国の写真測量学分野の研究開発を牽引されると共に 本学会の会長 副会長 編集委員長 学術講演会実行委員長等を歴任され 本学会の発展に特筆すべき貢献をされました また ISPRS 第5部会長等として 本学会の国際活動の活性化にも大きく寄与されました その功績は国内外の各界から高く評価されています

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会 特賞を授与いたします

鹿田 正昭 氏

貴殿は長年にわたり 我が国の測量・地理空間情報分野において広く活躍されると共に 本学会の常務理事 北信越支部長 日本測量協会北陸支部長等を歴任され 産学・地域連携の活動を積極的に推進されるなどして 本学会や関係学協会 地域・産業界の発展に多大な貢献をされました その功績は各界から高く評価されています

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会 特賞を授与いたします

瀬戸島 政博 氏

貴殿は長年にわたり 本学会の副会長 常務理事等を歴任され 活動の活性化と関係学協会との連携等に寄与されました また日本測量協会の専務理事や副会長 大学の客員教授や講師 企業の指導的技術者・研究者として 我が国の測量・地理空間情報分野の発展に広く貢献されました その功績は各界から高く評価されています

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会 特賞を授与いたします

■ 功労賞（1名）：**齋藤 元也 氏**

貴殿は長きにわたり 本学会会員として農業リモートセンシングの研究と教育に従事され 我が国のこの分野の発展に貢献されました また 長きにわたり 理事 評議員を歴任され 本学会の活動の推進に大きく寄与されました

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会功労賞を授与いたします

■ 学会賞（1名）：

菌部 礼 氏

貴殿は「マイクロ分光器ハイパースペクトルデータを用いた茶葉のクロロフィル含量非破壊評価」の研究において 新規性 独創性に優れた論文を学会誌に発表されました これらの成果は本学会の発展に大きく寄与すると判断されます

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会 学会賞を授与いたします

【対象論文】

菌部礼, 廣野祐平, 関晴之, 2022. マイクロ分光器ハイパースペクトルデータを用いた茶葉のクロロフィル含量非破壊評価, 写真測量とリモートセンシング, 61(1), 4-13.

■ 学会奨励賞（2名）：

姜 文淵 氏

貴殿は「フィールドスポーツにおけるオクルージョン前後の選手同定および影除去に関する研究」に意欲的に取り組まれ 優秀なる論文を発表されました

ここにその努力を讃えるとともに 今後いっそう研究に励まれることを期待して 日本写真測量学会 学会奨励賞を授与いたします

【対象論文】

姜文淵, 山本雄平, 中村健二, 田中ちひろ, 田中成典, 鳴尾丈司, 肖智蔵, 2022. フィールドスポーツにおけるオクルージョン前後の選手同定に関する研究, 写真測量とリモートセンシング, 61(4), 218-240.

姜文淵, 山本雄平, 中村健二, 田中ちひろ, 坂本一磨, 田中成典, 鳴尾丈司, 肖智蔵, 松尾龍平, 岡崎雄也 2022. GANを用いたフィールドスポーツの選手の影除去に関する研究, 写真測量とリモートセンシング, 61(4), 241-255.

竹内 祐太郎 氏

貴殿は「地すべり移動体の深層生成とその不確実性評価と性能向上手法」に関する研究に意欲的に取り組まれ 優秀なる論文を発表されました

ここにその努力を讃えるとともに 今後いっそう研究に励まれることを期待して 日本写真測量学会 学会奨励賞を授与いたします

【対象論文】

竹内祐太郎, 山本義幸, 古木宏和, 宇津木慎司, 吉田一也, 中村吉男, 2022. 空間的不均一性・連続性に関する正規化処理による地すべり移動体の深層生成, 写真測量とリモートセンシング, 61(1), 14-31.

竹内祐太郎, 山本義幸, 古木宏和, 宇津木慎司, 吉田一也, 中村吉男, 2022. 深層学習モデルによる地すべり移動体の画像生成における不確実性評価と性能向上手法の提案, 写真測量とリモートセンシング, 61(6), 368-386.

【永年会員表彰者】

●60年会員（5名）

今村 遼平氏 田中 邦一氏 那須 充氏 堀江 延韶氏 森 忠次氏

●50年会員（3名）

小林 和夫氏 志村 一夫氏 日高 義信氏

●40年会員（12名）

秋吉 健次氏 内田 修氏 川村 裕文氏 境野 庄司氏 島村 秀樹氏
高橋 守氏 近津 博文氏 廣瀬 典和氏 福島 芳和氏 森 宣彦氏
安田 岩夫氏 山口 靖氏

●30年会員（12名）

折田 光弘氏 門脇 利広氏 城ノ戸壽正氏 佐野 滋樹氏 全 炳徳氏
原 慶太郎氏 三並 裕次氏 美濃 伸之氏 村木 広和氏 村田 豊世氏
山崎 利文氏 李 雲慶氏

以 上